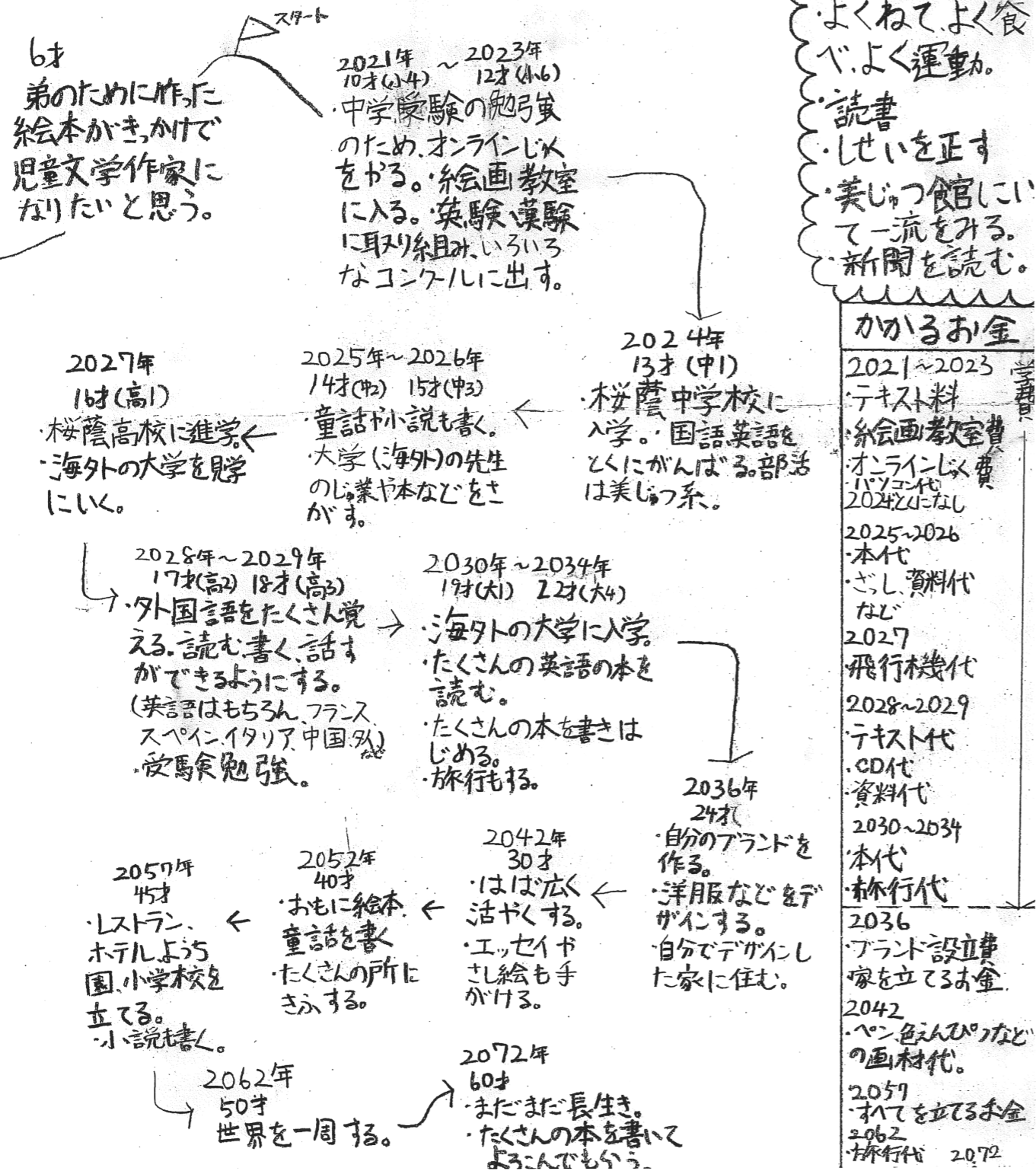


安部愛禾のライフプラン
 未来の目標: 児童文学作家(絵本や小説も書く。)
 理由: 文章や絵を通して人々の豊かな心を育てたいから。



心を育てる児童文学作家になるために

つくば国際大学東風小学校 四年 安部 愛禾

私の目標は、児童文学作家になる事です。なぜ私がそう思いはじめたのかというと、小さい頃からの絵本好きから始まります。赤ちゃんの頃からお母さんに毎日絵本を読んでもらっていて、絵本の時間はいつもとても楽しみでした。小学校に入学して自分で本が読めるようになると、もっと本が好きになりました。二年生からは、毎年二千冊以上読めるようになり、毎日の読書は沢山の事を想像する、私にとって大切な時間になっています。

私には、今でも鮮明に心に残っている思い出があります。三つ下の弟が野菜を食べられなくて、弟もお母さんも困っていた時のことです。どうにか助けてあげたいと思い、私はその場で豆絵本を作りました。絵も文も自分で書いた、みんなが野菜を食べるとい内容です。そして、その絵本を弟に読んであげました。すると、それを聞いた弟がパクパク野菜

を食べてくれたのです。私の作った絵本をきっかけに、弟がその時から野菜を食べるようになったことにとってもおどろきました。絵本に人の心を動かす力があることを実感した瞬間でした。私のライフワークが見つかった嬉しい瞬間でもありました。「人の心を豊かに育てられる絵を描けるようになりたい」、「読んだ人の心を楽しくさせる文章を書けるようになりたい」。そんなふうな児童文学作家になることが私の目標です。

私は絵や文学の力で、地球上の沢山の人の心を豊かにできる大人になりたいです。豊かな心をもった人たちが今よりももっとふえたら、美しい地球、平和な世の中作りに貢献できると思っています。